平成 26 年 11 月 16 日執行

南相馬市議会議員一般選挙公報

南相馬市選挙管理委員会

日本共産党（六十一才）
わたなべ　寛一
渡部かんいち

「原発ゼロ」、徹底除染、賠償、生活再建めざし、国、東電にハッキリものを言います

私は、原発事故後、みなさんとともに浪江・小高原発建設中止、ヨウ素剤の配布、小高の小学校仮設体育館建設の実現など全力をつくしてきました。引きつづき力をお貸し下さい。

大激戦です 二票二票と広げて下さい

- ◆「原発ゼロ」、再稼働は許しません。
- ◆徹底除染、住民本位の賠償を求めていきます。
- ◆保育園・幼稚園2年間だけでない無料化と学校給食の無料化をめざします。
- ◆医療機関・介護施設の拡充と看護師、介護職員の確保をはかります。
- ◆雇用の場の拡大、農業・地場産業の回復をめざします。
- ◆仮設や借上げ住宅の住み替えができるよう求めていきます。
- ◆戻る人も戻らない人も、最後まで寄りそう市政に全力をつくします。

たなか　田中　いっせい
昭和38年2月5日生まれ　61歳

『暮らしてよかった』の声が聞けるまで

田中いっせいは、みなさまの声を届け行動してまいります。

動きやすいまち
- ◆きれいな道路・広い道路で安全に通れる生活道路に
- ◆買い物や通院など、生活の足となるバスが利用しやすくなるように

ココロと身体が癒されるまち
- ◆救急医療設備の完備　混雑回避の市民病院に
- ◆医療過疎（お医者さんや看護師さんが足りない）対策を
- ◆地域のつながりをサポートし、心が通う福祉体制に
- ◆「自助・公助・共助があたり前」を生活に安心感を

みんなの声が届くまち
- ◆みなさまの要望と行政運営のズレが解消できるかけはし役を
- ◆除染や復興計画が万全に進むための要求を
- ◆迅速・丁寧に動き、信頼される議会へ

プロフィール
住　所　原町区下太田字松崎
昭和40年　太田小学校卒業
昭和43年　原町第二中学校卒業
昭和46年　相馬農業高校卒業

平成18年より南相馬市議会議員二期
・前広報広聴特別委員会委員長
・広報広聴特別委員会委員長
・議会運営委員会委員

みずい　水井　清光　せいこう

挑戦し続ける「みずい清光」の３つの課題

子供のびのび
- ・確かな除染によって「安心・安全」な通学路や遊び場の確保。
- ・母と子の幸せを守る。
- ・幼稚園、保育所の早期再開と再開に関わる人材確保に取り組んでまいります。

安心で暮らせる老後の安心
- ・寝たきり高齢者の健康管理、生きがい対策を重点に訪問看護士等の人材確保に取り組んでまいります。
- ・安心して医療を受けられる医療施設と人材の拡充、介護施設と人材の確保に取り組んでまいります。
- ・高齢者の健康対策、運動場と憩いの広場など確保に取り組んでまいります。

働いて復興発展
- ・働くことのできる環境を整える。
- ・企業誘致と地元企業の復興と働く場の確保に取り組んでまいります。
- ・働いて人生設計が（えがく）事の出来る南相馬市にするために働いてまいります。

○老・壮・青年の協調社会を創ろう　○原発無用。災害に強い南相馬市を創ろう
○3.11複合災害は決して忘れない　○再生エネルギーを積極的に活用

◇みずい清光プロフィール
南相馬市原町区馬場字下荒井84-5
- 1938年10月生まれ
- 県立原町高等学校卒業
- 南相馬市議会議員 2期

「30年先を見据えた復興への挑戦」市民と共に新たなる南相馬を

おくむら　奥村けんろう
南相馬市原町区下太田字藤沼47の1
昭和31年12月15日生

4つの南相馬づくり

子供と若者に未来を繋ぐ南相馬づくり
- ・子供たちが夢に向かい、創造力と個性を育む教育の確立
- ・若者が挑戦し働き続けることができる雇用の創出
- ・世代を超えた役割と生きがいを持てる地域づくり

「歴史と文化と絆」人間味豊かな南相馬づくり
- ・相馬野馬追を核とした通年型観光と人口交流の拡大
- ・歴史・文化の再認識と外部交流による定住化促進
- ・持続可能な、強い農業経営体の仕組みづくりの確立

自然と環境にやさしい南相馬づくり
- ・農業と再エネ共生モデルによる循環型社会の確立
- ・里山文化と里山資源による自立と豊かな暮らしの創出
- ・自然や有機農法の積極的導入による風評被害払拭

健康で安心・安全に暮らせる南相馬づくり
- ・市民や消費者への情報発信とネットワークづくり
- ・地域防災・教育の充実による災害に強いまちづくり
- ・除染促進・放射能の正しい知識による安心生活の確立

昭和50年～平成21年　東北電力勤務（34年）
平成4年～平成6年　須賀川地区議会事務局次長
平成9年～平成11年　原町市立太田小学校PTA会長
平成25年～現在　南相馬市議会議員（一期目）

大岩つねお

実績
（省略）

つねおの言い四ケ条　（住みよい故郷をつくろう）

一、高齢者の安心して生活できる環境つくり。
日本全体でも社会問題でありますが、高齢者同士の関わりの充実した組織を確立させて、医療、介護の整った生活環境をつくり果また住、国のモデルになるような高齢者が安心して生活できる環境を構築する。

二、子供達の将来に責任の持てる故郷つくり。
今なにより も最初に取り組みをしなければならない事は、学校でも報告されていない出来、5年、20年の近い将来に子供達の体内に蓄積された低放射線が及ぼす影響に対する施策の在り方ではないでしょうか。（南相馬市全域）現在、南放射線が環境汚染の指針の設定基準に対する施策の在り方ではないでしょうか。

三、我が故郷に働く若者の環境つくり。
私たちの住んでいる現在の南相馬市は原発事故の影響で市民生活の基盤は勿論のこと、一般企業の設立も難しい状況ではないでしょうか。よりよい市民生活の安心安全確保のため、一般企業の誘致に積極的に取り組んでまいります。

四、市議会議員の報酬の引き下げについて。
近い将来の市の財政が、財政難の為報酬は引き下げてもいいのではないでしょうか。現在、私は日給制でいます。私は日給制でいいと思います。（全国に先駆け実例　協議会長矢野町があります）

夢と希望のある住みよい南相馬市つくりに挑戦する事を心掛けて参りたいと思いますので、皆様方のご支援を心からお願いいたします。

正当な被害を訴え、原発の再稼働と輸出を止めよう！

補償・賠償！

今こそ、最大の損出「市民共有財産「海・山・川」の「代償」で、起死回生を図る時！
～超高齢・医療過疎社会～
《急務》入院ベッド半減・入所待機者五百人待ち解消。

医療保障
全国国立機関から、医師・看護師・介護士等、必要な人材派遣を国に要求！

賠償格差解消
汚染に応じた土地、建物の賠償は当然！

高速道無料
不通の常磐線、生業、避難家族間の利便の為、必要不可欠！

精神的慰謝料
事故原発から未だ毎時、一千万ベクレルのセシウム、その250倍の希ガス放出中。
除染しない山林由来の放射能を吸い込まなければならない生活環境を訴えましょう！

大山こういち
略歴
専修大学経営学部卒
北大路魯山人・孫弟子陶芸家
市議一期

無所属　52歳　経営学士

※子育て議員としてチェルノブイリを医師団で視察

先見・洞察力　復興の礎は安全安心!!　創造・実行力

南相馬市議会議員一般選挙の

投票日は11月16日(日)です

福島 希望
（ふくしまのぞみ）

みんなの一票大切に！

投票時間 午前7時から 午後6時まで

（この選挙公報は、候補者から法定期限内に提出された原稿をそのまま写真にとり、縮小して印刷したものです。）

平成26年11月16日執行

南相馬市議会議員一般選挙公報

南相馬市選挙管理委員会

『相双の誇り』を共に未来へ！

任期となる今後4年間の最重要事項は、小高区と原町区の一部を含む「避難指示解除準備区域」の解除になることは間違いありません。

以下の政策を推し進めながらも、市が予定している平成28年4月1日の解除に向け、除染、住居、仕事、医療・福祉、学校、交通機関など山積している課題をどう解決していくのか、最前線に立ち正面から向き合っています！

無所属・新人

おかざき 義典（岡崎）（よしのり）

（四十歳）

南相馬市原町区旭町一丁目75

政策その1 **教訓と市民の意見を取り入れた防災のまちを！**
災害時の対応について全市民が共有できるよう、防災計画及び避難訓練の定期的な見直しを市民のみなさんと共に図る「防災委員会」を設置します。

政策その2 **安全な農作物の地産地消を！**
南相馬産の農産物を学校給食で提供する他、このまちの基幹産業であった農業の再興に取り組みます。

政策その3 **南相馬市にも待機児童がいることを知っていますか？**
休園している公立保育園の早期再開をはじめ、子育て・教育環境を強化します。

政策その4 **市民と市政の距離を近づけます！**
市長らが条例案を説明し、議員は質問するだけの議会のあり方を見直し、民意を反映できる議会にするため議会基本条例を政策提言します。

政策その5 **市職員の経験を活かした市役所づくりを！**
震災以降2013年末までの間に180人もの市職員が早期退職しました。優秀な人材を集めるためにも正規職員の採用要件である年齢制限を撤廃します。

略歴…昭和49年8月6日生まれ40歳
2011年 福井県敦賀市役所の職員を振り出しに、南相馬市役所へ移住を決意。
2014年 7月31日 退職。
現在…南相馬市原町区旭町一丁目在住
広告手当営業
NPO法人みんなの共和国理事
スポーツ少年団「野馬追ランニング」指導員
一般社団法人日本政策学校一期生

家族が一緒に安心して暮らせるまちづくり

無所属

田中京子（たなかきょうこ）

南相馬市原町区江井字大代五五

安全安心な環境づくり
除染の徹底と放射能モニタリングの継続の推進に努めます。

健全財政の確立を推進いたします
福祉・医療・教育の充実に努めます。

私のこれからの取り組み
強い農業への挑戦を継続し、地産地消の推進に努めます。

元気なやさしいまちづくり
（高齢者・障害者の方々へのやさしいまち）
コミュニティ（交流の場）の拡充に努めます。

私の政治信条
政治は心！市民のみなさんの心の復興を！
ゆるぎない信念を持ち市民の目線で全力で働きます。

現在
- 南相馬市議会議員
- 相馬市立中村第一小学校PTA副会長
- 相馬市立中村第一小学校父母と先生の会副会長
- 相馬市立中村第一小学校PTA会長
- 相馬市立中村第一小学校学校評議員
- 相馬市立中村第一小学校学校運営協議会委員
- 相馬市立中村第一小学校学校運営協議会

平成 26 年 11 月 16 日執行

南相馬市議会議員一般選挙公報

南相馬市選挙管理委員会

震災を教訓として南相馬の再生を

平田 武（ひらた たけし）（六十五歳）
南相馬市原町区北長野字山居前一二
●原町石神第一小学校同窓会々長
●元石神中学校PTA会長
●原町石神第一小学校同窓会々長
●南相馬市議会議員（二期）
●議会運営委員長
●南相馬市議会議員

南相馬市の新しい姿は震災・原発から復旧復興。スピードを上げて早期に仕上げ山・川・海の豊かさを取り戻すこと、それぞれ原町・小高・鹿島の地域の主体性を尊重し事業の推進する、「4つくり1改革」の重点項目をもって私はめざします。

一、健康と福祉の基盤づくり
- 笑顔で暮らせる医療・保健・福祉の充実
- 安心して子を生み育ての出来る環境整備
- 介護方式の拡充

二、人づくり
- 教育（小中校）適正化と家庭教育の連携
- 生涯スポーツ・レクリエーションの施設整備
- 伝統文化の継承と文化施設整備
- 市民のこころの修復

三、活力ある産業基盤づくり
- 農業振興
  - 生産基盤の復旧復興の早期実現（耕地・山林・里山づくり）をはかる
  - 米依存からの脱却支援
- 商店街の空洞化対策と活性化のまちづくりをする
- 進出企業への支援と雇用確保対策（用地確保も含めて）

四、地域づくり
- 常磐高速道を活用し地域のよさを具体的に発信し定着させる
- 交流人口及び定住者の確保策（観光・高速道・イベントの利活用）をはかる
- 山・川・海・里の自然の活用・開発をする
- 常磐線の復旧に特注する

五、行政改革
- 行政サービスの新たな向上をする
- 将来を見通した震災の修復と無駄のない財政運営をする

もんま和夫

門馬かずお

私が想う将来像　親・子・孫
家族がともに暮らす新しいまち

- **親**の安心　・子どもに負担をかけない医療・介護の充実　・健康で暮らすための健康予防事業の拡充
- **子**の安心　・地元でしっかり暮らせる仕事の創出　・新しい産業の創出と企業誘致で雇用を確保
- **孫**の安心　・自立した大人となるための日本一の教育環境整備　・世界に誇れる特色ある学校教育の充実

私の約束　・目に見える復興の姿を実現！　・声を聞き、活動し、結果を報告

門馬和夫
昭和29年3月13日生まれ
昭和53年3月　東北大学工学部卒業
同年10月　原町市役所入職
その後
財政課長・経済部長
市立病院事務部長などを歴任
平成26年3月　退職

行政経験を、まちと議会の活力に！

豊かな生活環境のまちづくり

私が考える住民参加のまちづくり

鈴木さだまさ（すずき）
昭和21年8月23日生（68歳）
平成18年11月　南相馬市議会議員
平成26年11月　南相馬市議会議員（2期目）
元（有）コスモ製靴　代表取締役

さわやかなまちづくり
自然環境と共生し、資源が循環する価値を見い出します。

ふれあうまちづくり
子どもからお年寄りまで誰もが安心して暮らせるまちづくり。

たくましいまちづくり
地域経済の活性化を図り、足腰強化を目指します。

自立したまちづくり
地域分権を先導し、主体的地域づくりを進めます。

復旧・復興のために全力で頑張ります!!

「原発ゼロ」、一人ひとりによりそい国、東電にハッキリものを言います

日本共産党（六十五才）
荒木ちえこ

大激戦です 一票二票と必ず積み上げて下さい

私は、みなさんの切実な声を議会で質問し報告して来ました。とくに甲状腺ガン検診の毎年実施の実現、子どもの遊び場の実現、医療・介護の充実、子育て支援などに全力をつくして来ました。みなさんの切実な願い荒木ちえこに託して下さい。

- ◆「原発ゼロ」、再稼働は許しません。
- ◆ 徹底除染、住民本位の賠償を求めていきます。
- ◆ 保育所・学童保育所の拡充と、保育料無料の継続、学校給食の無料化をめざします。
- ◆ 医療・介護の拡充と看護師、介護職員の確保をはかります。
- ◆ 国保税を引き下げ、安心して医療が受けられるように求めていきます。
- ◆ 鹿島も含め全市へ医療費減免の継続を求めていきます。
- ◆ 雇用の場の拡大、農業・地場産業の回復をめざします。
- ◆ 住宅リフォーム助成制度の創設を求めていきます。
- ◆ のりあいタクシーの全市運行を求めていきます。

筋を通す政治の実現!!

◎基本政策（南相馬の再生のために…）
- ●加速度的な復旧・復興・再生
- ●徹底除染　●風評被害払拭
- ●風化防止　●完全賠償
- ●地域間格差（差別）の解消
- ●区役所機能の充実

政治は**決断力**と**行動力**と**結果**です。

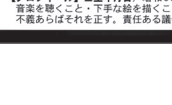
出来ないことを望むより出来ることを確実に積み上げます!!

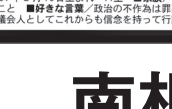
【略歴】双葉高・東北学院大学法学部を卒業。平成15年に小高町議会議員に初当選し、現在南相馬市議会議員として3期目。原町相馬市議会副議長。小高小・小高商高・双葉高ＰＴＡ会長、小高町ＰＴＡ連絡協議会会長、相双地区高等学校ＰＴＡ連合会会長等を歴任。

南相馬／復興・再生編
- ○三区の一体感の醸成
  区役所は、本庁の下請けではありません。原点に立ち返り、合併協定を遵守し、地域コミュニティの再生に努めます。
- ○働く場所の確保
  企業誘致及び既存企業再開支援策の充実を図ります。
- ○福祉の充実
  ・介護施設の確認・職員確保
  ・高齢化に伴う買い物弱者を支援します。

対／国
- ○直線距離で線引きされたことによる賠償や地域間格差（差別）の解消を求めます。
- ○平成28年4月の本解除は、押しきせがに進めず、市民の声を最大限尊重するよう求めます。
- ○一部損壊家屋も国が責任をもって解体するよう求めます。

対／東電
- ○適宜、適切な情報の開示を求めます。
- ○安全神話は完全に崩壊したことを認め、責任の所業を明らかにすることを求めます。
- ○個々の事情に応じた完全賠償を求めます。





52歳　今村 ゆたか（いまむら）

【プロフィール】■生年月日／昭和37年2月10日生まれ・A型　■家族／妻・1男2女　■趣味／癒し系の音楽を聴くこと・下手な絵を描くこと　■好きな言葉／政治の不作為は罪悪なり　■政治姿勢／正義を貴き、不義あらばそれを正す。責任ある議会人としてこれからも信念を持って行動します。

市民に寄り添って実現！夢の持てるまち「南相馬」の創世！

活性の息づかいを感じる街づくり
1. 市街地の活性化
   まちなか居住を推進し、中心市街地の賑わいの創出
2. 農業の振興
   地産地消、販売経路の安定的な確保、六次産業の推奨
3. 市内事業所との優先契約
   競争入札における市内事業所の優遇、及び随意契約における市外事業所の制限

市民の英知を結集した復旧・復興
1. 除染の加速化
2. 一律の線引きによらない、個々のケースに対応した補償及び行政支援
3. 原発に依存しない社会の実現
4. 新規産業の誘致促進
5. 交流人口の拡大
6. 太田幼稚園の即時再開

明るく元気のでる地域づくり
1. 地域コミュニティの振興
   学習センターを中心に老若男女が集う場の支援
   地域の伝統文化、スポーツ等の推進、支援
2. 高齢化社会への対応
   3世代居住の推進（長期・短期のヘルパー派遣等）
3. 災害に強い地域づくり
   各地域における危険箇所の解消
   電力の自給自足化の推進
   自主防災組織の機能拡充

次世代を担う人づくり
1. 産業人の育成
   各産業における技能、技術を学ぶ機会の増加
2. 学校教育の充実
   教職員が学習指導に専念できる条件整備
   子供が安全で安心な地域環境の整備
3. 後期高等教育の誘致（研究機関、大学等）

高橋 まこと（たかはし）
◆プロフィール◆
【学歴】昭和四十三年八月四日生
【職歴】原町二中卒業　原町高等学校　日本大学文理学部卒業
原町市役所　南相馬市役所　南相馬クラウドマネジメント株設立
【家族構成】父・清・母・イソ子・祖父・清次郎

南相馬市議会議員一般選挙の

福島 希望
（ふくしまのぞみ）

投票日は 11月16日(日)です

みんなの一票大切に！

投票時間 午前7時から 午後6時まで

（この選挙公報は、候補者から法定期限内に提出された原稿をそのまま写真にとり、縮小して印刷したものです。）

平成26年11月16日執行

南相馬市議会議員一般選挙公報

南相馬市選挙管理委員会

太田じゅんいち

「つなげよう！　愛するまち」
～希望の明日へ、こどもたちのために～

44才

私たちが生まれ育ち、先祖から預かった自然豊かな「みなみそうま」。若い力と先輩たちの知恵を今こそ結集し、次世代に「つなげよう！！」

- 自然と大地からの恵みをとり戻す！
- 何よりも除染が最優先！
- 安全安心になるまで医療費の無料！
- 安心づくりとコミュニティー再生が真の復興！
- バイオマスなど再生可能エネルギーの利活用！

「自然」「歴史」「文化」「人々」郷土の宝物を活かし、新しい豊かさを実現する生活をみんなでつくろう！ ➡ ふるさと日本モデル

略　歴
- 昭和45年3月6日、原町市生まれ
- 血液型A、うお座
- さゆり幼稚園、原町二小、原町一中、原町高校卒業
- 拓殖大学政経学部経済学科卒業
- 大学卒業後、東京・埼玉・いわきで民間企業に13年間勤務
- 南相馬市議会議員初当選（平成18年11月）
- 南相馬市議会議員2期目当選
（平成26年1月）

現　在
- 南相馬市議会議員（2期）
- 除染現場等において、モニタリング調査に参加
第3種放射線取扱主任者
除染等特別教育（作業従事者、指揮者）修了
除染業務講習会（業務管理者コース）修了

但野けんすけ（ただの）

未来にのこすべきものがある。
復興の種をまき、育てる。

地域を支える人材を育てる教育
- 企業や大学と連携した講座の開催
- 日本で最先端かつ充実した子ども向け科学技術教育
- 地域課題解決を通じた次世代育成プログラム
- 発達障がいやＰＴＳＤなど子どものケアの充実

将来にわたって暮らせる産業づくり
- エンジニアと起業家の育成
- 企業や研究機関のサテライトオフィスの誘致
- 地場産業への先端技術導入の推進
- 地域課題解決を通じた企業の誘致、事業の育成

経歴
- 1982年　南相馬市鹿島区生まれ
- 1995年　鹿島小学校卒
- 1998年　鹿島中学校卒
- 2001年　原町高校卒
- 2005年　一橋大学商学部経営学科卒
　日本放送協会（ＮＨＫ）記者
- 2010年　南相馬市議会議員

現職
- 相馬地方広域水道企業団議会議員（災害対策特別委員会委員長）
- 原町青年会議所会員（東北地区復興推進委員会　幹事）
- 原町商工会議所青年部会員（地域活性化委員会　副委員長）
- 鹿島商工会青年部（賛助会員）
- 消防団鹿島区団第4分団第10部（団員）

大亀せいじ（おおかめ）

皆さんの思っていること、言いたいことを、代弁者として行政に届ける役割をさせて下さい。
近い将来を担う子供達に繋がる政治をいたします。
来年春に震災五年目になります。援助も希薄になってきます。これからが真の蘇生の始まりと思います。
地方自治法の概要には、「議員は住民の代表であり、民主主義の要請に応える者です。」と記載されています。

若者よ、少し熱くなれ、投票所へ行こう!!

略歴
大亀　清壽（おおかめせいじ）
- 昭和二十九年四月二四日生まれ
- 福島県立相馬農業高等学校卒
- 元 原町市消防団第一分団第一部長・元 原町区南四行政区区長
- 元 原町区総団長懇談会副会長
- 相双小児消防組合理事長
- 南相馬市体育協会常任理事
- 原町柔道スポーツ少年団代表
- 南相馬柔道スポーツ少年団代表
- 日展会友・日本彫刻会会員
- 福島県美術協会会員（福島県展・福島県美術展招待作家）
- 福島県展「川の案内人」

住所：南相馬市原町区南町四丁目13番地
TEL：23－3583
FAX：22－3169

渡部いっぷ（わたなべ）

の未来への責任

住民の生の声を市政に反映　安心でゆたかな南相馬市をつくる
～原発事故前の平穏なくらしを！～　～国、県の政権との力強いパイプ役～

1. 原発被害の完全賠償の実現
2. 国の責任で南相馬市の除染の実施
3. 子どもの内部被曝の防止
4. しごとを生む復旧・復興事業の実施
5. 医療と福祉の再生で安心なくらし
6. 子どもを守り育てる教育と地域づくりの実現

山田雅彦

南相馬のいまとこれからを見据え　“豊かで温かい南相馬市”を皆さんと一緒に

南相馬の今のために
➤避難指示により異なる環境の改善　➤廃炉工程の監視と速やかな対応
➤着実かつ迅速な復旧・復興

これからの南相馬市のために

交通網の整備
日常生活の利便性向上と非常時の避難経路確保のために、
①国道6号の4車線（バイパス）化
②常磐自動車道の4車線化
③県道原浪線と国道114号の拡幅改良
④JR常磐線高速化に向けた踏切解消

子育て・福祉環境の充実
全ての世代が安心できる環境となるように、
①高齢化社会を安心に生活できる環境づくり
②地域医療の確立
③子育て環境の充実

教育環境の充実
将来を担う一人ひとりの子ども達の夢実現のために、
①小人数学級の在り方も含めた教育環境の検討
②課題解決能力向上につながる教育の推進
③家庭、地域、学校における教育力の向上

持続可能な財政運営の確
限られた財源で南相馬市を維持するために、
①税負担と行政サービスのバランス維持
②行政改革の在り方の検討
③自助・互助・公助の推進
④市政全体を踏まえた予算執行の監視

●南相馬市議会
●●議会運営委員会委員
●●東日本大震災及び原発事故対策調査特別委員会委員
副委員長

50才

復興、そして再生・創成へ

すずき昌一（しょういち）

原子力災害がもたらした地域分断と相互不信を克服し、人と人、人と地域との「つながり」の再生をめざします。

①心身の健康問題（安全・安心）を適切に取り扱う取組みを
低線量被ばくの影響被害については、科学的見解が分立していることが被災者の間に深刻な不安と対立を生んでいます。安全であることを前提にするのではなく、長期間にわたる健康モニタリングと健康管理のための徹底なデータ収集に、自治体が自律的に取組む必要があると考えます。

②個人、家族レベルできめ細やかな生活再建のための支援を
原子力災害は「住居や田畑の放棄、さらには家族の離散や別居という大きな打撃をもたらし、県内外への避難者たちは生活設計の大幅な変更を余儀なくされています。
私は先の見えない生活に不安を抱える市民に寄り添いながら、生活再建のためのきめ細やかな支援が必要だと考えます。

③地域再生への取組みは、あくまで住民の合意形成を前提に
家族や親族或いは地域コミュニティの解体と弱体化は、新たな利害関係の対立にまで発展する可能性もあり、地域再生への大きな足かせとなりかねません。
復興過程の進展に伴い、被災地の実情も変化していくことから、絶えず実情把握に基づいて政策の効果と問題点を検証し、その改善を図っていくことが必要だと考えます。

プロフィール
昭和二十九年七月十日生（六十歳）
早稲田大学卒業
法政大学大学院政治学研究科修了
●●衆議院議員秘書
●●前原町青年会議所理事長
●●前原町商工会議所副会頭
●●前鈴木材木店代表取締役
●●調停委員
●●社会福祉法人　福祉会理事
南相馬市消防団協力委員（現在三期目）

竹野みつお（たけの）（54歳）

南相馬市小高区浦尻字原田2
仮居　原町区本町3－17　ツインハウス101

南相馬市の復興に全力!!
生まれ育った郷土のために

市民が幸せになる　南相馬市の復興を目指して　次の世代に確かな豊かさを残すために

① 原子力災害を克服し、安心安全を目指します
- 市内のしっかりした除染を求め、徹底していきます。
- 全ての市民の完全な原子力損害賠償を求めます。
- 市民の健康管理と避難市民の支援に努めます。

② 医療・福祉の充実した健康な町づくりを目指します
- 高齢化対策に取り組み、安心して老後生活が送れるよう努めます。
- 医療の充実によって、安心して暮らせる地域にするため努力します。

③ 子育て支援と教育支援で教育の充実を目指します
- 子供達の将来に向けた学力向上策に努めます。
- 子供のやる気を引き出し、教師と子供達の関係強化に努めます。

④ 産業支援と経済活力の振興に努めます
- 地域実情にあった農業の推進でブランド化を目指します。
- 若者が定着して働ける、産業の育成と雇用拡大に努めます。

⑤ 卒原発で命と環境を守り、危機管理に努めます
- 原発に頼らず、自然エネルギーの推進に努めます。
- 郷土の環境を守り、安心、安全を取り戻します。

精一杯頑張りますので、御支援、御指導を賜りますよう心からお願い申し上げます。

私のあゆみ
- ★昭和34年12月29日生まれ
- ★昭和53年3月　県立相馬農業高等学校卒
- ★平成7年7月　代議士私設秘書
- ★平成15年11月　南相馬市議会議員（第1期）初当選
- ★平成18年11月　南相馬市議会議員（第2期）当選
- ★平成22年11月　南相馬市議会議員（第3期）当選

現在　南相馬市議会　文教福祉常任委員長
相馬地方広域市町村圏組合議会副議長

南相馬市議会議員一般選挙の投票日は

11月16日(日)です

投票時間
午前7時から 午後6時まで

（この選挙公報は、候補者から法定期限内に提出された原稿をそのまま写真にとり、縮小して印刷したものです。）